

認知症に関する活動計画（概要）

埼玉県作業療法士会では、「認知症地域支援推進部」を組織しており、地域支援の基盤強化を目指し、認知症関連の研修の開催、オレンジカフェの支援、認知症の人と家族の会の連携を継続している。

昨年度は、認知症の概要やBPSD、捉え方などの講義形式での研修のほか、毎年恒例となっている「しゃべくりOT」と題した相互交流形式の研修を2回開催した。また、「認知症に関わる方必見！認知症の人と暮らしの支援」とのテーマで群馬医療福祉大学の山口智晴先生をお招きして研修会を開催した。

今年度は、オンライン研修の他に対面研修を予定している。

オレンジカフェについて

埼玉県OT会員が立ち上げから携わっているオレンジカフェでは、OTならではのアクティビティを実施したり、世代を繋ぐ交流機会の促進支援をしている。

オレンジカフェへのOT会員参加増を目標に、グループコミュニケーションアプリ「BAND」を用いた開催報告・次回開催の周知と参加者募集を継続している。



認知症の人と家族の会との連携事業



若年性認知症当事者・家族のつどいである「若年のつどい」を、共催の形で継続している。県内4か所で開催されているため、「BAND」を用いて参加者を募ったり確認事項を共有しあったりして、継続可能な体制を整備している。

つどいでは主に当事者グループに参加し、各種レクリエーションを用いた交流促進を担っている。依頼に応じて、家族からの相談にも対応している。

これでいいのだバンド

若年性認知症の当事者と埼玉県作業療法士会のOTによって結成されたバンド。現在は、職種年齢問わず、ただただ音楽を楽しみたいという同じ気持ちを持った仲間が集まり、演奏活動を行っている。昨年度は学校の授業や認知症のイベントなどでの依頼があり、本年度も精力的に活動を行っている。

